

財政状況の公表（令和6年度上半期）概要

※各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

① 令和6年度予算のあらまし 一般会計「補正予算第1号から第4号」の概要

補正額 110億4,535万1千円

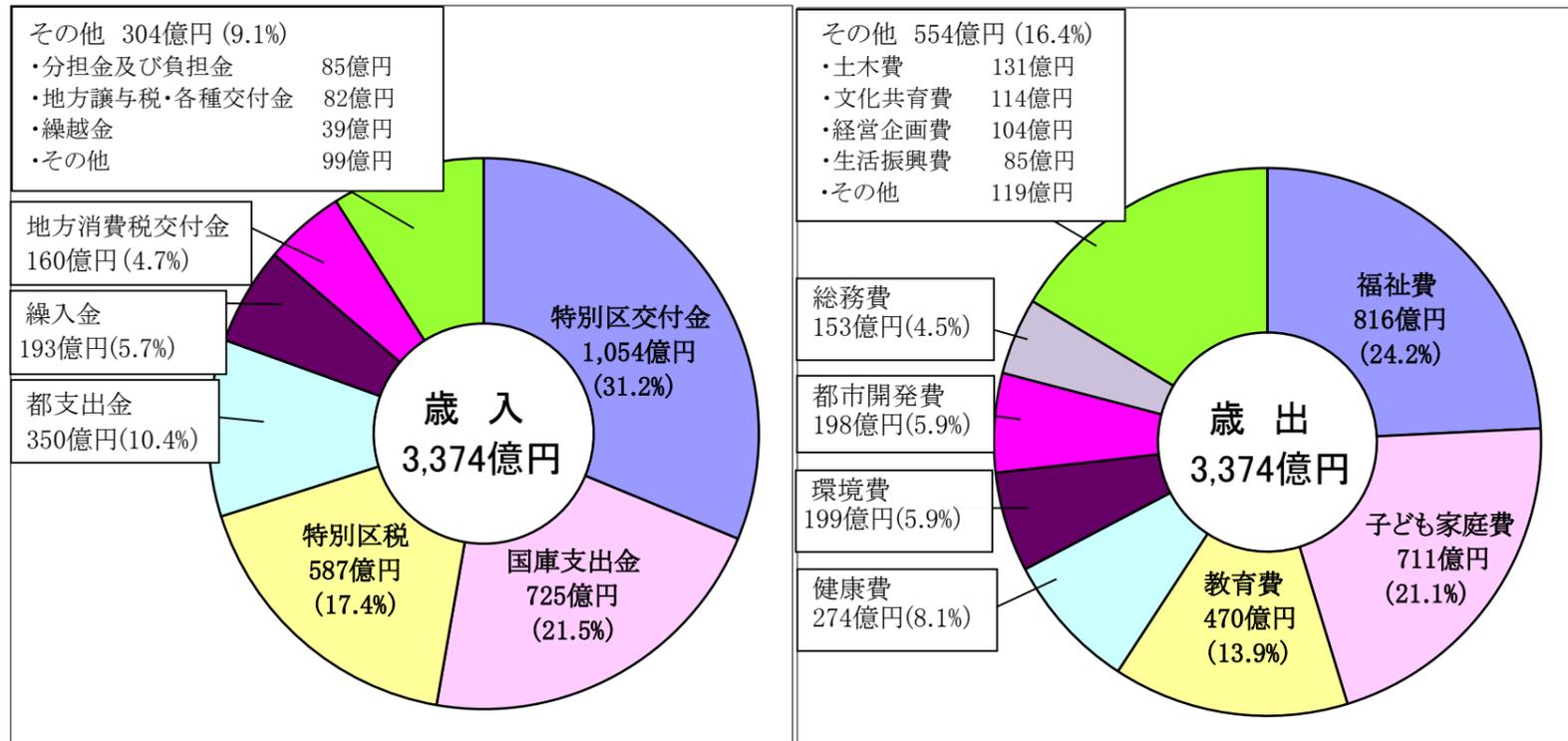
〈歳入〉

◇都支出金	69億7,428万8千円
◇地方特例交付金	34億966万8千円
◇繰越金	21億5,152万5千円
◇国庫支出金	10億8,191万3千円
◇繰入金	4億3,754万2千円
◇その他（減額補正含む）	△30億958万5千円

〈歳出〉

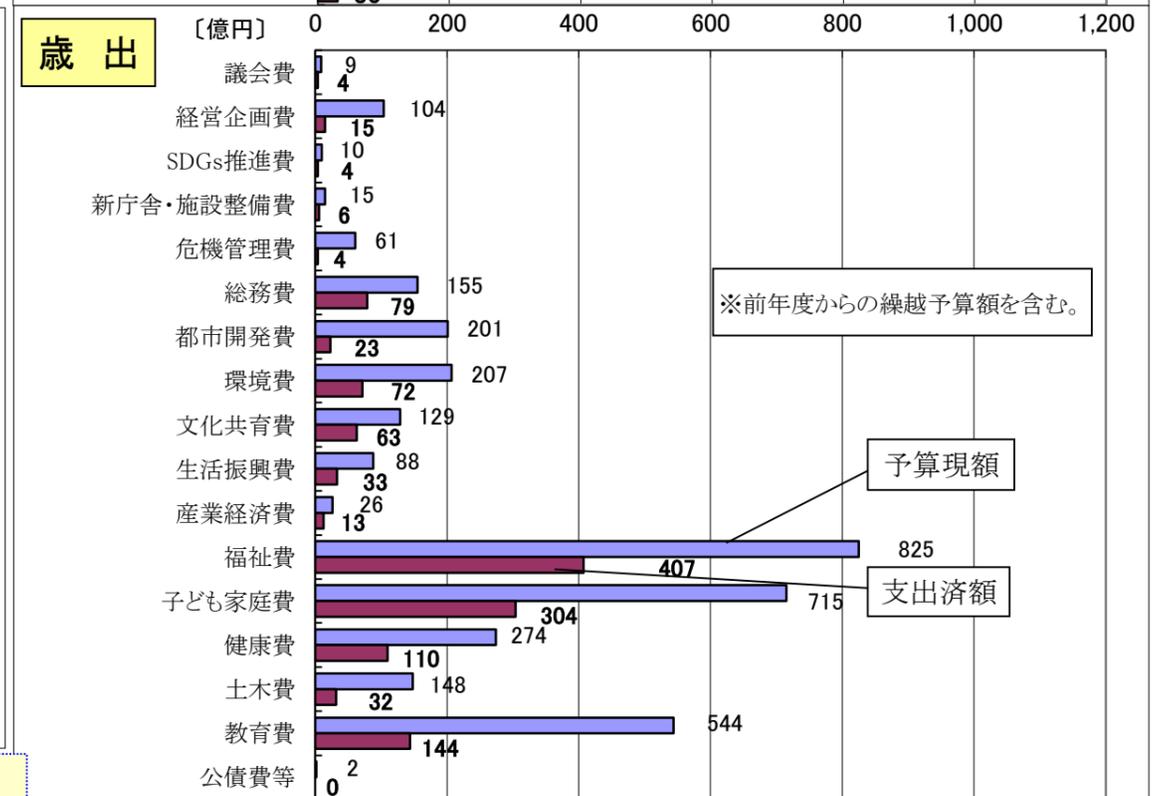
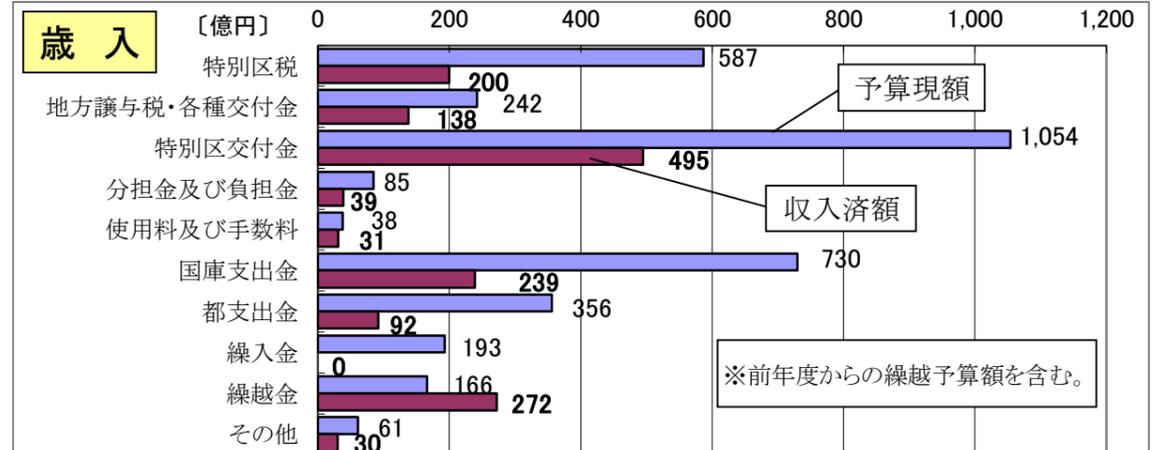
◇総務費	57億7,520万4千円
◇健康費	20億955万円
◇子ども家庭費	18億9,101万1千円
◇教育費	6億8,977万8千円
◇文化共育費	3億21万円
◇その他	3億7,959万8千円

補正後の一般会計予算の構成

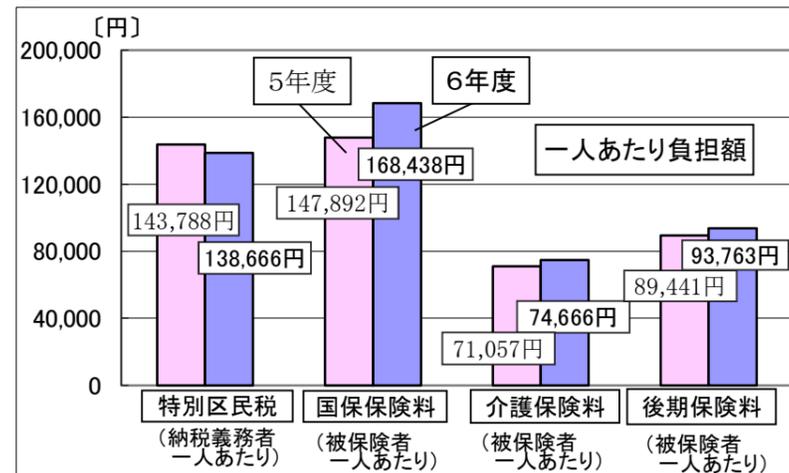


江戸川区の人口（住民基本台帳人口※外国人を含む）693,685人（令和6年10月1日現在）

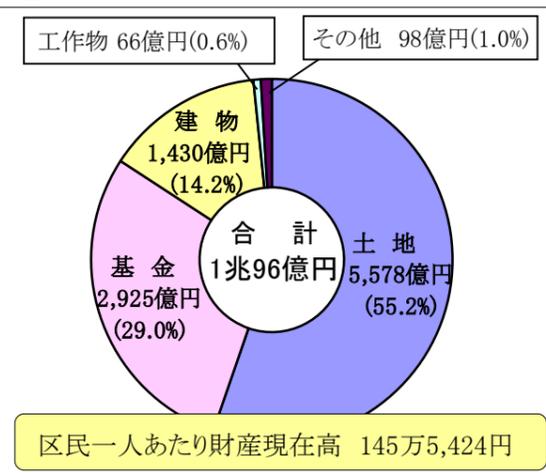
② 令和6年度予算の執行状況 一般会計（令和6年9月30日現在）



③ 区民の負担概況（令和6年9月30日現在）



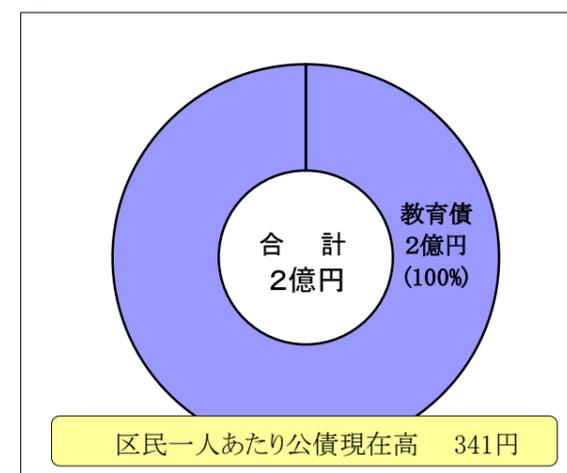
④ 財産の現在高（令和6年9月30日現在）



基金とは…

積立基金と運用基金の2種類があります。左の基金は、この2つの合計です。積立基金は、家計でいうと貯金です。災害発生時や老朽化した施設の改築等への備えで、9月末現在高は2,720億円です。運用基金は、一定額の基金を土地取得等のために運用するもので、205億円あります。

⑤ 公債の現在高（令和6年9月30日現在）



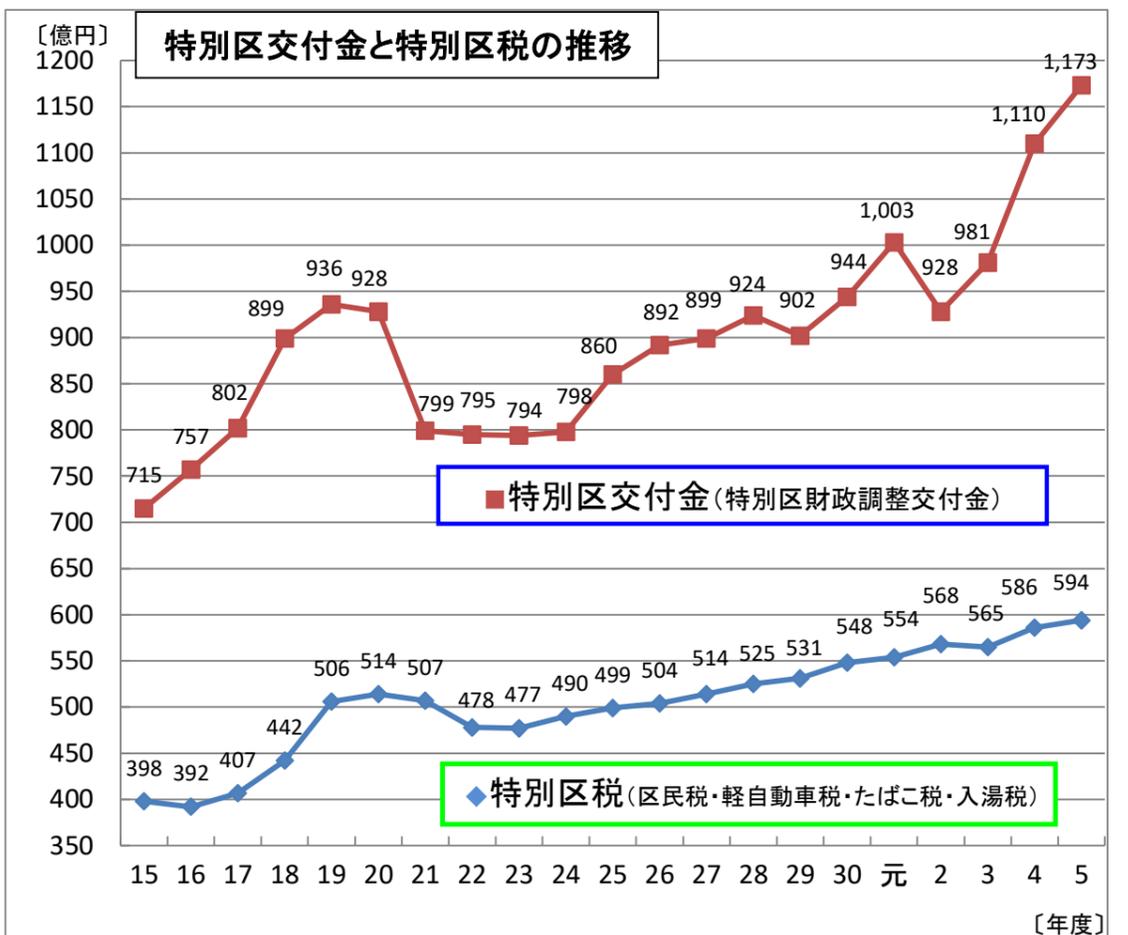
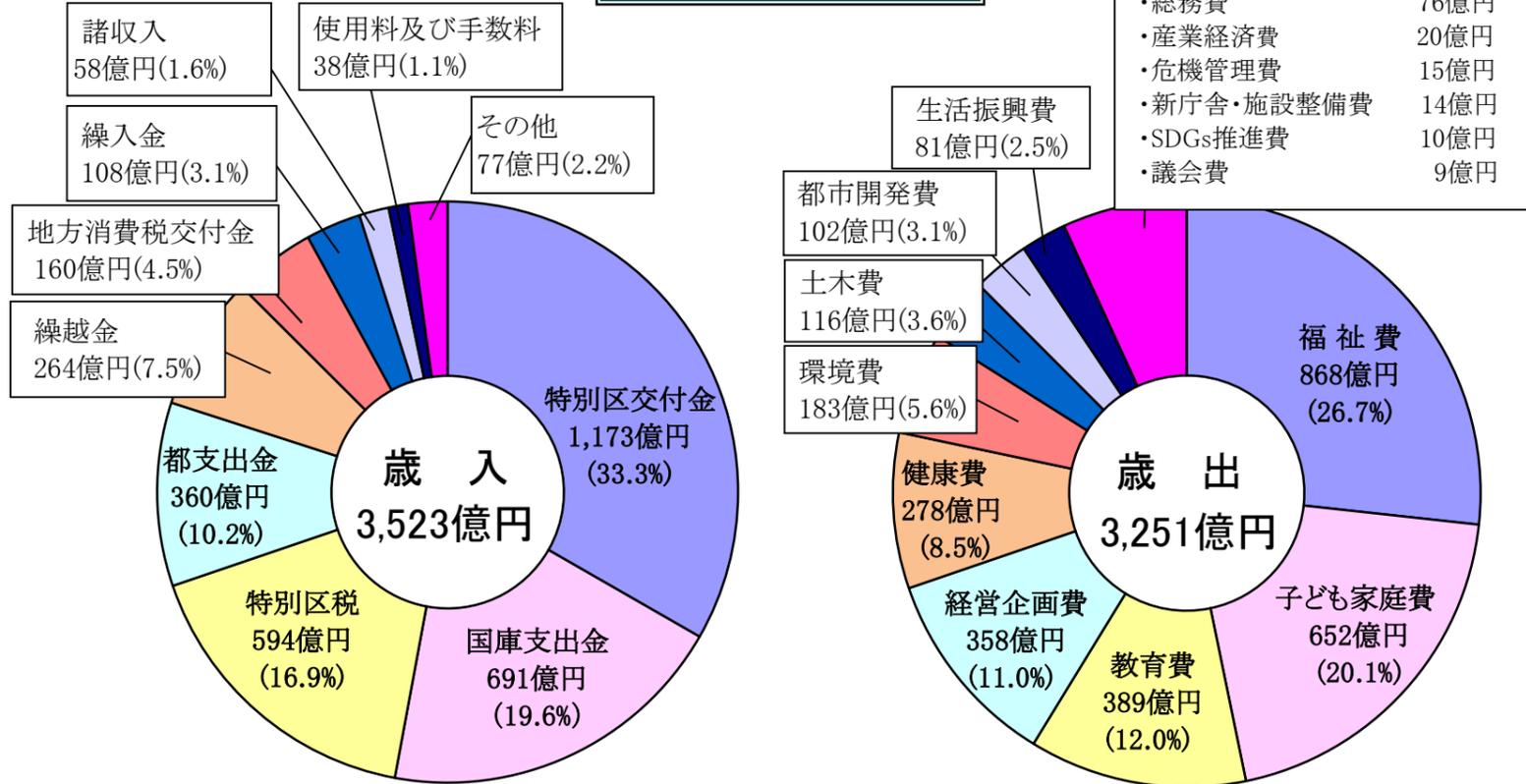
公債（区債）とは…

家計でいうと借金です。将来世代に負担を先送りにしないため、区債の発行を抑制しています。これまでに区債の繰上償還を実施し、将来にわたる財政負担の軽減を図ってきました。

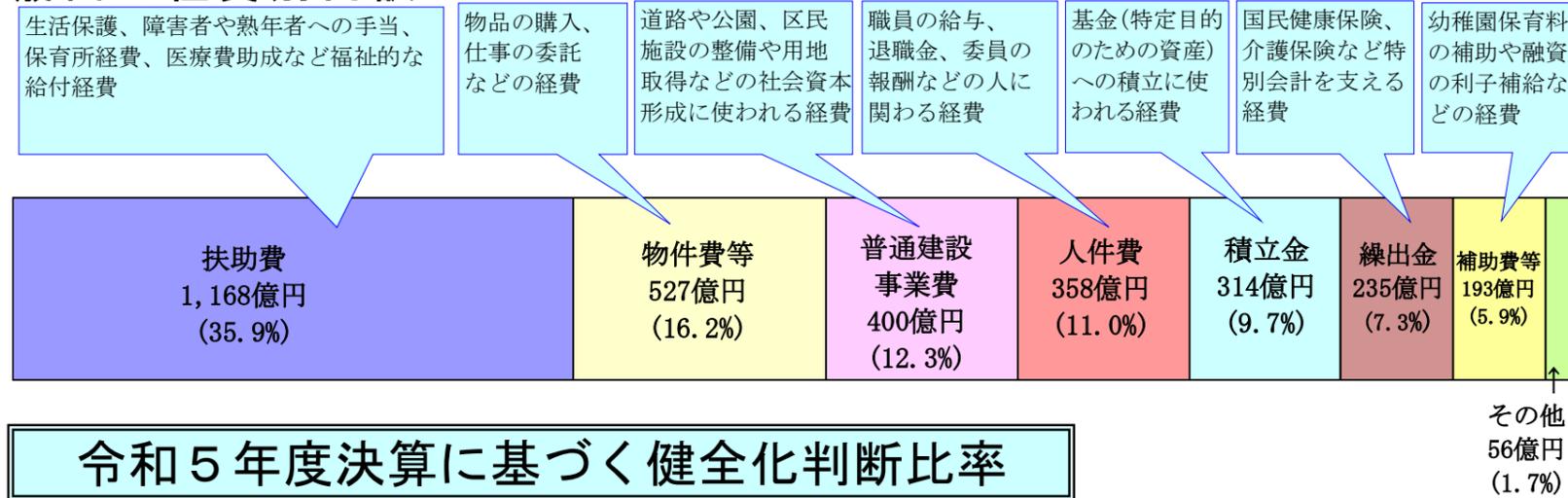
令和5年度 決算の概要

※各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

一般会計



歳出の性質別内訳



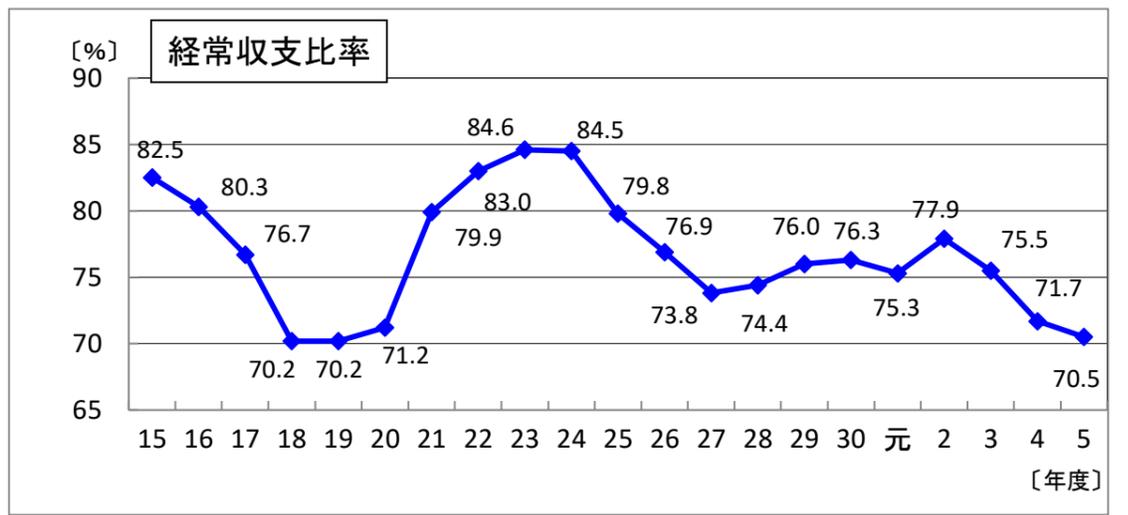
特別区交付金は、企業収益の回復等により前年度に比べ増加しました。特別区税は、日本経済の景気回復の影響により増加傾向です。

令和5年度決算に基づく健全化判断比率

区の財政状況は極めて良好で、将来的にも健全な状態です。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
江戸川区	—	—	△5.0%	—
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	350.0%

※表中の「-」はマイナス値を表し、令和5年度決算が黒字であったことと、将来負担すべき額よりも基金(貯金)の方が多く、将来負担比率の該当がなかったことを示しています。なお、実質公債費比率がマイナスの場合は「△」と表示しています。
 ※早期健全化基準とは、この数値を超えると財政が危険な状態であることを示す、国が定めた指標で江戸川区の場合の指標を記載しています。



財政構造の弾力性を計る指標で、適正水準は70%~80%です。令和5年度は、前年度から1.2ポイント下がり、11年連続適正水準の範囲となりました。